

# WEEKLY REPORT

District 2630 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 会場 シティホテル美濃加茂

# Minokamo Rotary Club



2022~2023年度 RI会長: ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

RI テーマ: イマジン ロータリー

会長 大野 博文  
副会長 山田 彰  
幹事 酒向 信幸

事務局 〒505-0041  
美濃加茂市太田町 2565-1  
シティホテル美濃加茂 2F  
Tel: 0574-25-2824 Fax: 0574-28-2575

HP <http://rc-minokamo.skr.jp/> Eメール [minokamo@viola.ocn.ne.jp](mailto:minokamo@viola.ocn.ne.jp)

## 本日のプログラム

第2631回10月7日(金)12:30~  
CF・米山記念奨学委員会

## 次例会のプログラム

第2632回10月14日(金)12:30~  
ゲスト卓話

### 前例会(第2630回)の記録 9月30日(金)

- ◇点鐘.....会長:大野博文
- ◇ロータリーソング唱和  
“日も風も星も” “四つのテスト”
- ◇ゲスト紹介...会長 大野博文  
福田行政書士事務所 福田 茉奈様
- ◇新入会員入会式  
美濃加茂衛生株式会社 酒向 伸治君

### ■会長の時間 会長:大野 博文

本日、酒向伸治君が新入会員に加わりました。酒向君は美加茂商工会議所青年部の会長をされていた頃から、ロータリーに誘いたいと思っていたので、今回入会いただき、とても嬉しく思います。

さて、10月は、衣替え、行楽、お祭り、運動会など様々な行事が行われ皆さんお忙しいと思います。10月30日には美濃加茂ロータリークラブ55周年式典が開催されます。55周年準備委員会の委員長である藤吉君も一生懸命準備していますので、皆さんどうぞ協力宜しくお願い致します。

式典では、永年表彰というのがあるのですが、今回は13名の方の永年表彰をさせていただきます。若手会員が増える中で、永年表彰が13名もいるということは、歴史もある中、未来を担う新しい人たちが一緒にいるということ、すごく誇らしいことであります。

先日、長くロータリアンとしてご一緒させていただいた福島さんがお亡くなりになりました。突然のことに驚きとともに哀しみを感じました。健康は最も大切なことです。皆さん、体調管理、自己管理、健康診断、スポーツなどして、55周年の式典には、全会員が元気に顔を合わせることができるとを切に願います。

また式典には、鳥羽ロータリークラブから18名の方が来ていただけるとのこと。鳥羽ロータリークラブの60周年の時には、それを上回るよう、次期会長が頑張ってくれると思います。その際には、皆さんご協力よろしく願います。

## 委員会コーナー

### ◆出席委員会 担当:井上 充

例会日	総員数	出席	出席率
本日	39名	25名	65.78%
先々週	38名	24名	63.15%

### ◆ニコニコBOX委員会 担当:谷口 真一

大野博文:福田様本日のゲスト卓話楽しみにしています。福島さんのご冥福をお祈り申し上げます。酒向信幸:福田様本日は宜しくお願い致します。酒向伸治君、入会おめでとう。

佐々木晃：昨日は何年振り？楽しいゴルフが出来ました。80才以上ピンクマークで77点でした。もう何年か頑張ります。

井尾達之：酒向さん RC 活動頑張ってる

石田公司：末娘が結婚（入籍）しました。いよいよ老々介護家庭です。父（91才）、私、嫁（62+62）犬（17才×6（犬年）=104才）、犬15才×6（犬年）=90才）で平均82.8才。大変です。

勝川生年：酒向伸治様入会ありがとうございます。

藤吉紀美：福田先生ようこそ！本日は卓話宜しくお願ひ致します。

安藤摩里：福田様本日は宜しくお願ひ致します。

大脇ちさと：福田様、本日は宜しくお願ひ致します。

福島さんを偲んで…

佐合淑美：福田様卓話宜しくお願ひ致します。

酒向伸治：本日から入会させていただきます。酒向伸治でございます。宜しくお願ひ致します。

以下同文：山田彰、福井寛悦、堀野義夫、林松美、西田 逸夫、高井文洋、佐久間良直、小原 岳史、鈴木玄二、井上充、大前友宏、小柳晶寛、大岩雄哉、谷口 真一

#### ◆IDM 報告 リーダー 高井 文洋

水谷さんホスト、新入会員2名

職業奉仕についてご理解いただいたと思います。

和気あいあいと終わりました。

#### ◆幹事報告 幹事：酒向 信幸

10/7 理事会

10/16 濃飛グループ IM

10/21 55周年記念式典リハーサル

10/22,23 地区大会

10/30 55周年記念式典

### 本日の行事

#### ◎ゲスト卓話

『LGBTQの基礎とこれからの労働環境』

福田行政書士事務所 福田 茉奈様

① LGBTQとは

② LGBTQは病気ではなく、たまたまそう生まれたというだけの自然なこと。

③ LGBTQ当事者は日本国内に8.9%存在する。これは日本の総人口の約11人に1人の割合。（電通ダイバーシティラボ 2020年調査）。

左利きの人と同じくらいの割合となる。

従業員やお客様の中にも LGBTQ 当事者は当然いるという前提で考える。

#### ④ LGBTQが働くうえでの困り事

- ・性別による身だしなみのルール
- ・通称名を使いたいが使えない。
- ・異性愛者のふりをして話を合わせる。
- ・パートナーの病気、看病などで休みを取りにくい。
- ・性的指向や性自認についてハラスメントを受けた

#### ⑤ 企業ができること

- ・SOGI ハラ防止
  - ・差別的な言動や嘲笑、差別的な呼称
  - ・いじめ・暴力 無視
  - ・望まない性別での生活の強要
  - ・不当な異動や解雇
  - ・許可なく公表すること（アウトティング）
- ・上記のようなことは許されないことという認識を社内で共有する。
- ・LGBTQに関する研修会や勉強会実施。
- ・問題が起きた場合、速やかに被害者に対して配慮のある措置をし、行為者に対する措置も適正に行う。（SNS等で会社のマイナスイメージが拡散されてしまう可能性もある。）
- ・性的指向や性自認で悩む従業員のために相談窓口を紹介する。

⑥LGBTQに対して取り組んでいる企業のメリット  
多様性のある企業、オープンで先進的な企業であるとアピールできるとともに、LGBTQだけでなく、従業員一人一人を尊重する企業であると地域に認識される。また「LGBTQフレンドリーな企業とそうでない企業であれば、フレンドリーな企業を利用したい」と考えるLGBTQ層も多い。全人口の8.9%を占めるLGBTQ層を味方につける

こと、顧客にしていくことはビジネスの面でも大きなメリットとなる。

良くも悪くもLGBTQやSDGsなど「多様性」というかたちのないものに注目が集まる今、それを利用し商機と捉えていくことも工夫次第で可能である。